

事務事業 No./名 称	☒ サービス部門 都整-28 ☐ 支 援 部 門							公園整備事業						
主管課	公園課				関連課		都市計画課・みどり課							
分野名	みどり													
目標 (目標値)	大規模な公園の整備、街区公園等の整備と改修を市民参画・協働のもとに進める。 人口一人当たり都市公園面積 平成32年:9.0㎡/人(市街化区域)、14.6㎡/人(都市計画区域)〔鎌倉市緑の基本計画H23-9〕													
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考									
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)									
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯										
	事業の対象者数													
運営資源 状 況	決算値(千円)	1,253,252	1,694,344	1,331,353										
	(国・県)	289,769	391,500	391,000										
	(負担金等)													
	(一般財源)	963,483	1,302,844	940,353										
	人員配置数	7.0	7.0	8.0										
	人件費(千円)	55,614	60,861	68,129										
	協働の パートナー	鎌倉広町緑地・台峯緑地で保全活動を 実施している市民団体等												
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,308,866	1,755,205	1,399,482										
	市民1人当 りの経費(円)	7,385	9,905	7,899										
	対象者1人 当りの経費(円)													
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒													
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)							
人口一人当たり都市公園面積	○	目標値												
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	5.7%	5.7%	5.7%	5.7%								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止										
公園整備事業	24,701千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	鎌倉広町緑地維持管理等業務委託 台峯緑地樹林管理等業務委託 街区公園再整備工事他													
公園用地取得事業	1,228,551千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	鎌倉広町緑地用地取得 (仮称)山崎・台峯緑地用地取得 不動産鑑定評価業務委託 都市再生機構事業負担金													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	公園の整備には用地取得をはじめ多額の予算が必要である。 都市計画公園の未買収地の買取要望への対応が必要である。		
課題解決のための取組	社会資本整備計画書に位置づけ、これが受理されていることから、引き続き、国庫補助を活用する中で、用地買収を進めた。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	用地買収の年次計画に対し、その計画の実施に必要な国庫補助金を全額受けられることがますます困難になりつつあることを踏まえると、現在着手している事業についても延伸などの対応が避けられない状況にある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		緑地保全・公園整備の市民要望は非常に高いことから、引き続き、国や県の支援を受けながら、事業の充実拡大を図る。		課長等名
		③有効性	○			A	公園課担当課長 伊東 弘善
		④公平性	○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
公園整備事業	主な個別事業	318 (仮称)山崎・台峯緑地樹林管理等業務委託料	5,000	3,966	○	○	○	○
		鎌倉広町緑地都市計画事業認可申請書類作成業務委託料	5,618	1,543	○	○	○	○
		318 山ノ内宮下小路2号緑地用地測量・台帳整備業務委託料	1,523	847	○	○	○	○
		318 山ノ内宮下小路2号緑地都市計画決定図書作成業務等委託料	1,183	1,155	○	○	○	○
		318 (仮称)扇湖山荘実施設計策定業務等委託料	6,993	4,725	○	○	○	○
		318 (仮称)扇湖山荘樹林整備委託料	2,000	3,982	○	○	○	○
		318 七里ガ浜東地区街区公園再整備工事請負費(翌年度への事故繰越)	10,000	3,900	○	○	○	○
		671 鎌倉広町緑地維持管理等業務委託料	4,200	3,899	○	○	○	○
公園用地取得事業	主な個別事業	319 (仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	2,117	966	○	○	○	○
		319 鎌倉広町緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	2,273	525	○	○	○	○
		319 (仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	468	389	○	○	○	○
		319 (仮称)山崎・台峯緑地用地購入費	726,096	501,159	○	○	○	○
		319 鎌倉広町緑地用地購入費	487,334	255,659	○	○	○	○
		319 (仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地購入費	98,666	185,454	○	○	○	○
		319 防災公園街区整備事業負担金	314,946	284,206	○	○	○	○
		672 消耗品類 印刷製本費	515	172	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							